

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

広島刑 収容棟G

CASBEE広島 2013年追補版Ver.2(BPI/BEI対応)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内 訳			
<b>■1.「地球温暖化対策」の推進</b>						
<b>1.1 建物の熱負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.10	Q1	室内環境	2	温熱環境
	1.0	0.18			2.1	室温制御
	2.6	0.72	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
小計	2.4	0.21				
<b>1.2 自然エネルギーの利用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
屋根面に太陽光発電パネルを設置	4.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
					2.1	自然エネルギーの直接利用
					2.2	自然エネルギーの変換利用
小計	3.5	0.10				
<b>1.3 設備システムの高効率化</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
高効率機器の採用及び自然エネルギー利用によりBEI=0.66						
小計	5.0	0.15				
<b>1.4 設備システムの効率的運用</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
					4.1	モニタリング
					4.2	運用管理体制
小計	3.0	0.10				
<b>1.5 資源・マテリアル対策</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
躯体と非構造部にリサイクル材を使用	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
躯体:高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
非構造部:せっこうボード・ビニル床シート・断熱材	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
アスファルト防水下地断熱材に再利用可能な押出法ポリスチレンフォーム保温材を使用	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	5.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	3.3	0.30				
<b>1.6 ライフサイクルCO2排出率</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.9	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
省エネ性能の向上によりLCCO2 76%						
小計	3.9	0.13				
<b>1.「地球温暖化対策」の推進の評価</b>	<b>3.4</b>	<b>0.69</b>				
<b>■2.「ヒートアイランド対策」の推進</b>						
<b>2.1 温熱環境の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
敷地内に緑地を確保。また舗装面積を少なくすることで暑熱環境を緩和	4.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	1.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
					2.2	温熱環境悪化の改善
小計	1.7	0.97				
<b>2.2 交通負荷抑制</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	5.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
敷地内一般車輦と大型貨物車輦の出入口と走行範囲の分離 自転車置場を確保することで無断放置防止に役立つ					2.3	地域インフラへの負荷抑制
					3	交通負荷抑制
小計	5.0	0.03				
<b>2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価</b>	<b>1.8</b>	<b>0.17</b>				
<b>■3.「長寿命化対策」の推進</b>						
<b>3.1 耐用性の向上</b>						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	4.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
建築基準法の25%増の耐震性を確保	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
主要内装仕上材の更新必要間隔の長期化	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
床:ビニル床シート(20年) 内壁:EP(65年) 天井: 化粧PB(30年)	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
給水:SUS管(C-30年) 排水:排水用硬質塩化ビニル パイプ鋼管(C-30年)	5.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
非常用発電機回路を備え、地階、ピット内に精密 機器を設置している	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	4.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
小計	3.6	0.47				
<b>3.2 設備の更新性</b>						
(コメント) ※設計の計画に特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
小計	3.0	0.53				
<b>3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)</b>	<b>3.3</b>	<b>0.14</b>				
<b>■重点項目の総平均(上記3項目)</b>	<b>3.1</b>					